

第 10 回社会教育委員会議	
開催日時	令和 8 年 2 月 9 日 (月) 午後 2 時～午後 3 時 30 分
会 場	ふるまち庁舎 4 階 401 会議室
出席者	<p>【社会教育委員】 今井 岳、江口 和美、、木村 いほ子、佐藤 裕紀、竹田 暢美、羽賀 万起子、長谷川 雅朗、山岸 則子 計 8 名 ※敬称略</p> <p>【事務局】 教育次長、生涯学習センター所長、中央図書館長、生涯学習推進課長、生涯学習推進課職員 7 名、 計 11 名</p>
内 容	<p>1 開会</p> <p>2 報告事項 (1) 新潟市芸術創造村・国際青少年センターの指定管理者の指定について (2) 岩室地区公民館におけるアスベストの検出について ○報告資料 1・2 に基づき、中央公民館 高島館長より報告を行いました。 【主な質問・意見等】 ・指定管理者について、これまで管理していた事業者が引き続き指定されたとの理解でよいか。 →現在管理している事業者が引き続き指定されることとなった。</p> <p>3 意見交換 ○資料 1 に基づき、全体で意見交換を行いました。 【主な意見交換内容】</p> <p>〈事務局からの謝意と説明〉 ・建議作成に係る 2 年間の活動への謝意が述べられた。 ・前回会議における発言について、事務局としては両グループに対し公平に対応してきた旨説明があった。</p> <p>〈佐藤議長からの建議概要説明〉 ・この会議で大きな内容修正等がなければ、会議後に最終的な体裁統一、誤字脱字の点検を議長・副議長・事務局で行い、成案とする予定であることが示された。 ・建議最終案について、資料 1 に基づき、佐藤議長から前回からの主な変更点と概要説明が行われた。主な説明は以下のとおり。 →「はじめに」において、2 年間の活動内容および 2 つのテーマに基づく調査活動の成果であることを明示した。 →第 1 章では、国・新潟県・新潟市における社会教育人材および人材ネットワークに関する動向を整理した。 →第 2 章では、他自治体の先行事例として、埼玉県・広島県・愛媛県・島根県の事例を紹介し、自治体の関与や登録制度、デジタル活用等の示唆を整理した。 →第 3 章では、市内関係職員へのアンケート結果を要点に絞って記載し、詳細は巻末資料に掲載するように体裁を変更した。 →第 4 章では、民間 5 団体へのヒアリング結果を整理し、目的に応じたネットワーク形成、心理的安全性、相互に頼り頼られる関係性の重要性などの示唆をまとめた。</p>

<p>内 容</p>	<p>→第5章では、「こどもの居場所」を目的とした社会教育施策の方向性として、5つの視点からの配慮を具体的に提示した。</p> <p>→巻末資料としてアンケート内容及び調査・集計の結果、第36期会議の開催実績、第36期委員の名簿を掲載した。</p> <p>〈表記・体裁に関する意見〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「とりくみ」は「取組」に統一する。 (補足：名詞の場合は「取組」、動詞の場合は「取り組む」) ・「わかる」は「分かる」と漢字表記で統一する。 ・「かかわりあい」について、「関わり」は漢字、「〇〇しあう」の「合う」も漢字ではないか。 ・「すばらしい」については、漢字ではなく平仮名ではないか。 <p>→「かかわりあい」・「すばらしい」については文言統一ルールに記載がないため、事務局で検討して必要に応じて修正することとなった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・30頁8行目については、改行位置がずれているため修正する。 ・第2章について、タイトルから「から」を取り、他の表記と統一することとした。 ・第5章の各項目は節立てとし、全体の章構成に合わせることにした。 <p>〈タイトルとの整合性に関する意見〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回会議で、建議タイトルから「人材」を削除することとしたが、「はじめに」で2つのテーマが挙げられ、どちらも人材が入っているため、タイトルとの整合性がとれていないのではないか。 <p>→2つ目のテーマは「こどもの多様な居場所づくりのための社会教育ネットワーク」と、「人材」を削除することとした。</p> <p>〈ヒアリング先への照会に関する確認〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第4章のヒアリングに関しては内容確認を行うが、事務局が手配した場合と委員で声をかけたところがあるが、いつ・どのように・どのくらいの期間で照会すればよいか。 <p>→第4章を含め、建議中で言及している関係団体へは、事務局で照会を行う。期限を定めて確認依頼を行い、3月の提出に間に合うよう対応する。</p> <p>〈名簿の「所属・役職」に関する確認〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長谷川委員の所属について、「新潟市小中学校PTA連合会」に修正する。 ・現在は就任時の所属・役職を記しているため、変更がある場合もあるため、基準日を設定するべきではないか。 <p>→事務局でいつ時点を基準とするか整理した上で、必要に応じて委員へ確認することとした。</p> <p>〈今後の予定について〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本日の指摘事項を反映し、議長・副議長・事務局で最終点検を実施する旨説明があった。 ・教育委員との建議報告会は3月19日(木)に開催予定であるが、出席委員については調整中のため、後日、事務局から連絡する旨説明があった。 <p>4 2年間の活動を振り返って</p>
------------	--

第 36 期新潟市社会教育委員会議 会議概要

	<p>○委員より、調査研究をして気づいたことや建議作成を通して今後の活動に活かしたいこと、2年間の活動を通してのご意見等を含めた挨拶の発表があった。 (欠席委員については、事前に受け取った挨拶を事務局が代読)</p> <p>5 教育次長あいさつ</p> <p>6 閉会</p>
傍聴者	0名
会議資料等	<ul style="list-style-type: none"> ・第 36 期新潟市社会教育委員会議 (10 回) 次第 ・報告資料 1 指定管理者候補者の選定結果について ・報告資料 2 岩室地区公民館アスベスト除去工事 ・資料 1 第 36 期新潟市社会教育委員会議建議 (最終案)